

2026 年度

大学入学共通テストを免除する 学校推薦型選抜学生募集要項

(インターネットにより出願受付)

出願期間	2025 年 11 月 4 日(火)～11 月 10 日(月) (インターネット出願登録 2025 年 10 月 28 日(火)～)
試 験 日	2025 年 12 月 1 日(月)

※記載内容に変更が生じた場合は、随時、ホームページにて周知します。

<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>



静岡県立大学
UNIVERSITY OF SHIZUOKA

目 次

ページ

1	理念・目標・入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
2	募集人員	5
3	推薦上の注意	5
4	障がい等のある入学志願者の事前相談	5
5	出願要件・選抜方法等	
	薬学部	6
	食品栄養科学部	7
	国際関係学部	8
	経営情報学部	9
	看護学部	10
6	出願手続	
(1)	出願期間	11
(2)	出願方法	11
(3)	出願先	11
(4)	出願書類等	11
(5)	出願上の注意	12
(6)	調査書記入上の注意	13
7	選抜日時・試験場等	
(1)	試験日	13
(2)	試験時間割及び実施内容	13
(3)	試験場	13
(4)	受験上の注意	14
(5)	試験場からの退出	14
(6)	試験時間中の注意事項	14
(7)	不正行為について	15
8	合格発表	16
9	入学手続等（概要）	16
10	その他	
(1)	学生生活	17
(2)	個人成績の開示について	18
(3)	個人情報の取扱いについて	18
(4)	募集要項の入手方法	18
(5)	検定料の返還について	19
11	学部案内	
	薬学部	20
	食品栄養科学部	21
	国際関係学部	22
	経営情報学部	23
	看護学部	24
	試験場案内 <静岡県立大学 草薙キャンパス>	

<入学試験に関する問合せ先>

〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1

静岡県立大学 学生部入試室 (TEL 054-264-5007)

e-mail: nyus@u-shizuoka-ken.ac.jp

出願準備から受験までの流れ

大学入学共通テストを免除する
学校推薦型選抜

- ① 入試日程・出願手続を確認する。



- ② 出願書類を準備する。 11～12 ページ参照

●＜STEP①＞静岡県立大学ホームページから必要な様式をダウンロードし、作成する（11 ページ (4)出願書類等：A～F）。

- A 写真票
- B 推薦書（学部ごとに様式が異なります）
- C 志望理由書（薬学部と看護学部のみ）
- D 自己推薦書（食品栄養科学部と経営情報学部のみ）
- E 住所票
- F 高校連絡票

●＜STEP②＞高等学校に調査書^(G)を依頼する（11 ページ (4)出願書類等：G）。



- ③ ＜STEP③＞静岡県立大学インターネット出願サイトにアクセスする。

【インターネット出願サイト】

<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/admissions/faculty/online/>



- (1) **入力** インターネット出願サイトにて必要事項を入力する。



- (2) **確認** 出願確認票（点検用）を印刷し、記載内容を確認する。
【注】必ず「印刷」して確認し、誤りがあれば修正してください。



- (3) **登録** 登録ボタンで入力内容を登録する。
【注】一度「登録」をすると、その後の内容修正はできません。
「登録」後に誤りがあった場合は、最初から入力し直してください。



- (4) **支払** 検定料等を納入する（クレジットカード決済・コンビニ決済等）。
【注】検定料納入後の内容変更は一切できません。
●検定料 17,000 円（別途手数料がかかります）
※納入後の入学検定料等は、19 ページ 「(5)検定料の返還について」に挙げる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。



- (5) **印刷** 検定料の納入後に出力可能となる書類（出願確認票^(H)、入学者選抜連絡用宛名ラベル^(I)、出願封筒用宛名ラベル^(J)）をプリントアウトする。
(12 ページ (4)出願書類等：H、I、J)



- ④ 出願封筒用宛名ラベル^(J)を市販の角形 2 号の封筒に貼付のうえ、出願期間内に必着となるように出願書類（A～I）を郵送する。【注】消印有効ではありません。



- ⑤ 大学から後日郵送される受験票を受領する。



- ⑥ 受験票を試験当日に持参し、受験する。

注意：インターネットの登録だけでは出願は完了しません。

必ず出願書類を出願期間内に必着となるように郵送してください。

※インターネットによる出願ができない志願者は、出願開始前日までに入試室までご連絡ください。

1 理念・目標・入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

静岡県立大学の理念

静岡県立大学は、たゆみなく発展する大学を目指します

静岡県立大学は、卓越した教育と高い学術性を備えた研究を推進します

静岡県立大学は、学生生活の質（QOL）を重視した勉学環境を整備します

静岡県立大学は、大学の存在価値を向上させる経営体制を確立します

静岡県立大学は、地域社会と協働する広く県民に開かれた大学を目指します

静岡県立大学の目標

静岡県立大学は、その理念に基づき、教育・研究・地域貢献・国際交流において、次の目標を掲げます

教育

学生を第一に考え、学生生活の質（QOL）の向上を図り、高度かつ秀逸できめ細やかな教育を提供することで、社会に貢献できる有為な人材を育成します

研究

静岡県内の最高学府としての自覚を持ち、独創性豊かで高い学術性を備え、国際的な評価に耐え得る研究を推進します

地域貢献

県民の負託に応え、県政や産業界との連携を図りながら、卓越した教育と高い学術性を備えた研究による成果を地域に還元します

国際交流

諸外国から学生・研究者を積極的に受け入れ、また世界に情報発信することにより、静岡県の国際交流の強力な推進力となります

静岡県立大学は、この目標を達成するため、学術的・人的資源を最大限に活用した大学運営とその体制の確立を目指します

2007 年 7 月 26 日制定

全学アドミッション・ポリシー

地域社会や国際社会で活躍する人材を育成するため、次のような学生の入学を期待しています

1. 高等学校教育で修得する必要がある基礎学力と英語力を有している
2. 教養科目と専門科目を自ら積極的に学び、活用できる向上心を有している
3. 大学の学びを未来に向かって生かそうとする高い志を有している

各学部のアドミッション・ポリシー

薬学部

薬科学科（4年制）

倫理観を含め大学人としての教養を身につけ、世界に通用する語学力を養うとともに、薬学の基盤となる知識とその応用展開能力を醸成し、医薬品の研究・開発で活躍できる人材の育成に努めています。また、大学院への進学を想定して、創薬・生命薬学研究を担う創造力豊かな研究者や高度専門職業人の養成を目指しています。これらの教育目標及び方針に立脚し、健全な倫理観を備え、薬学人として社会に貢献したいという強い信念と情熱を持ち、学習意欲と科学的探求心を有し、社会のニーズに柔軟に対応できる創造力と論理的思考力を有する人材を歓迎します。加えて、基礎薬学に軸足を置き、物理学・化学・生物学を基盤とした創薬研究や生命薬学研究に高い集中力で取り組める学生を求めています。

薬学科（6年制）

倫理観を含め大学人としての教養を身につけ、世界に通用する語学力を養うとともに、薬学の基盤となる知識とその応用展開能力を醸成し、医療現場で活躍できる人材の育成に努めています。また、医療の担い手として貢献する指導的立場の薬剤師や医療薬学領域の研究者の養成を目指しています。これらの教育目標及び方針に立脚し、健全な倫理観を備え、薬学人として社会に貢献したいという強い信念と情熱を持ち、学習意欲と科学的探求心を有し、社会のニーズに柔軟に対応できる創造力と論理的思考力を有する人材を歓迎します。加えて、医療や薬物治療に対する問題意識を常に持ち、他者と意見交換しながら論理的に問題解決に向けて取り組む学生を求めています。

食品栄養科学部

静岡県立大学食品栄養科学部は、「生命科学の体系的な教育を基盤として、国際的に通用するコミュニケーション能力を備え、食と環境と健康に関する地域社会の課題からグローバルな問題までの解決に貢献できる人材を育成する」という本学部の目的を理解し、本学部で学びたいという意欲を持つ学生を求めています。

こうした学生を受け入れるため、静岡県立大学食品栄養科学部では、多様な選抜方法と多面的な評価尺度による入学者選抜を実施しています。

食品生命科学科

食品生命科学科は、次のような学生を求めています。

- 食と健康に関心が高く、食を通して社会に貢献したいという意欲のある人
- 食品の生産、開発、評価に必要な技術や探求心、思考力を身につけて、食品技術者・研究者として活躍したい人
- 自ら考えて学ぶ意欲があり、地球的視点から多面的に物事を考えることができる人
- 専門的な知識と実践的な能力を身につけ、食品技術者として活躍することを目指す人

食品科学とその基礎をなす数学、物理、化学、生物学の習得に必要な学力を有し、食品の生産、開発、評価に必要な技術や、技術者として求められる探求心、論理的な思考力、多様な人々と連携・協働するためのコミュニケーション能力、総合的な問題解決能力を身につけられる人を求めています。

栄養生命科学科

栄養生命科学科は、次のような学生を求めています。

- 食と健康に関心が高く、人々の健康増進と保健・医療へ貢献したいという意欲がある人
- 栄養科学の専門家として、情報収集能力、論理的思考力、問題解決能力、コミュニケーション能力など、実社会で活躍するための実践的な能力を身につけたい人
- 病院、行政、小中学校等において管理栄養士または栄養教諭として活躍するために必要な基礎および専門的な知識と実践的な能力を身につけたい人
- 高度な専門知識と能力を身につけ、研究者、高度専門技術者、指導的立場を担う管理栄養士を目指す人

栄養科学とその基礎をなす数学、物理、化学、生物学の習得に必要な学力を有し、管理栄養士に必要な技術や、栄養科学分野の技術者として求められる探求心、論理的な思考力、多様な人々と連携・協働するためのコミュニケーション能力、総合的な問題解決能力を身につけられる人を求めています。

環境生命科学科

環境生命科学科は、次のような学生を求めています。

- 食と健康に関心が高く、より良い環境の創造を通して社会に貢献したい人
- フィールドワークや実験を根気強く行う忍耐力や集中力を有する人
- コミュニケーション能力を有し、他人と協調して自ら積極的に行動できる人
- 環境に関する地域の課題からグローバルな問題、さらには微生物からヒトまでの生命のしくみについて幅広い興味を有する人
- 高度な専門知識と能力を身につけ、研究者や高度専門技術者として指導的立場を担う環境の専門家を目指す人

環境科学とその基礎をなす数学、物理、化学、生物学の習得に必要な学力を有し、環境に関わる諸問題の解決に必要な技術や、技術者として求められる探求心、論理的な思考力、多様な人々と連携・協働するためのコミュニケーション能力、総合的な問題解決能力を身につけられる人を求めています。

国際関係学部

国際関係学部は、国際社会で活躍できる人材の育成を目指しています。具体的には、グローバルな視点を兼ね備え、さまざまな課題に対して適切に判断を下して行動できる優れた人材の育成を目指します。そのために、以下のような学生を求めます。

1. 国語、外国語、数学等の学習を通して、文章の読解力や表現力、コミュニケーション力、論理的思考力等を身につけている人
2. 地理歴史や公民等の学習を通して、国際関係を理解するための前提となる、さまざまな地域の歴史や社会についての基礎知識を身につけている人
3. さまざまな分野に知的好奇心を持つとともに、主体的な問題意識に基づく探究心を持って、情報収集や考察を行える人

4. 激動する世界の動向に関心を持ち、国際関係の専門領域を学びたいと考えている人、あるいは、国家の枠組みを越えた集団や個人間の多様な関係について学びたいと考えている人、また、それらの学習を生かして、国際社会や地域社会で活躍したいと考えている人
5. 人と人との関わりに興味を感じ、他者理解に豊かな想像力を駆使できるとともに、日本をはじめとする世界のさまざまな地域の言語や文化について、深く学びたいと考えている人、また、それらの学習を通して、国際社会や地域社会で活躍したいと考えている人

経営情報学部

経営情報学部では、「経営」「総合政策」「データサイエンス」「観光マネジメント」の4分野の融合と専門性により、現代社会の各分野でイノベーションを担う問題解決型の人材を育成するため、次のような学生を求めます。

〈経営情報学部の求める学生像〉

1. 「経営」「総合政策」「データサイエンス」「観光マネジメント」のいずれかの分野に関心を持ち、専門的な知識と能力を身につけたい人
2. ひとつの分野以外にも興味を持ち、融合して活用する能力を身につけたい人
3. 与えられた問題を解くだけでなく、自ら問題を発見し、どう解決するか、どのように役立てていくかを考える能力を身につけたい人
4. 企業経営・公共経営・観光経営などに高い関心をもつ文系志向の人、または、データサイエンスに興味を持ち、数学や自然科学などの学力のある理系志向の人
5. 「経営」「総合政策」「データサイエンス」「観光マネジメント」の4つの分野の基本的知識とコミュニケーション能力を身につけた社会人を目指す人

看護学部

看護はあらゆる「ひと」を対象にし、すべての人々が健康な生活を実現できるように支援します。本学部は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）に定める人材を育成するために、次に掲げる知識・技能や能力、意思を備えた人を求めます。

- 1) 日本語および英語による聞く・話す・読む・書くというコミュニケーションの基本的な能力を身につけている。
- 2) ものごとを論理的に探求するために必要な高等学校の教育課程をバランスよく修得している。
- 3) 多様な価値観を尊重し真摯な態度で「ひと」に向きあえる。
- 4) 地域社会に看護職者として貢献する意思を持っている。

2 募集人員

学 部	学 科	募集人員
薬 学 部	薬科学科(4年制)	7名
	薬学科(6年制)	13名
食品栄養科学部	食品生命科学科	7名
	栄養生命科学科	7名
	環境生命科学科	4名
国際関係学部	国際関係学科	14名
	国際言語文化学科	28名
経営情報学部	経営情報学科	40名
看護学部	看護学科	45名

本学では『入試過去問題活用宣言』に参加している大学「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。必ず使用するとは限りません。

入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験者にわかるような形で公表します。

『入試過去問題活用宣言』についての詳細及び参加大学の一覧については、次の URL にて公表しています。

(<https://www.nyushikakomon.jp/>)

3 推薦上の注意

- (1) 高等学校には、「特別支援学校の高等部」、「中等教育学校」を含みます。
薬学部、食品栄養科学部、国際関係学部、看護学部では、「高等専門学校」を含みます。
- (2) 薬学部、国際関係学部、看護学部に推薦できる対象学校は静岡県内の高等学校等です。
- (3) 上記(2)で出願できるのは、出願者本人又は保護者が2024年12月1日から2025年12月1日まで継続して静岡県内に住所（住民票）を有している人です。
- (4) 学校推薦型選抜に出願できるのは、**合格した場合に入学することが確約できる人に限ります。**
- (5) 学校推薦型選抜の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。
- (6) 学校で独自に教科・科目を設定しているなどの理由により、学習成績の状況の算出方法について疑義が生じた場合は、出願前に学生部入試室に申し出て、その取り扱いについて指示を受けてください。

4 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がいのある者等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者は、2025年10月3日(金)までに学生部入試室に必ず事前に相談してください。

相談内容によっては、診断書等の申請書類の提出が必要となる場合があります。

また、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる出身学校関係者との面談等を行うことがあります。

連絡先

〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1 静岡県立大学 学生部入試室 (TEL 054-264-5007)

5 出願要件・選抜方法等

実施学部・学科	薬学部（薬科学科・薬学科）
募 集 人 員	薬科学科（4年制）7人 〔静岡県内の高等学校等が対象〕 薬学科（6年制）13人 〔静岡県内の高等学校等が対象〕
出 願 要 件	次の要件をすべて満たしている人 (1) 2026年3月に静岡県内の高等学校（特別支援学校の高等部及び中等教育学校を含む）を卒業見込みの人（2025年度の学年の途中において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた人を含む）又は2026年3月に静岡県内の学校において通常の課程による12年の学校教育を修了見込みの人 (2) 本人又は保護者が2024年12月1日から2025年12月1日まで継続して静岡県内に住所（住民票）を有している人 (3) 学業成績・人物ともに優れ、本学部への適性・能力について出身学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合、必ず入学する人 (4) 調査書の数学、理科及び外国語（英語）の3教科を合わせた学習成績の状況が4.3以上の人 ＜算出方法＞ $\text{学習成績の状況} = \frac{\text{数学、理科及び外国語（英語）の評定の合計数}}{\text{数学、理科及び外国語（英語）の評定数}}$ （注）小数点以下第2位を四捨五入すること。
推薦できる人数	1 高等学校等につき 薬科学科、薬学科のどちらも3人以内、2学科で計4人以内 ※ 分校を持つ高等学校は本校と分校をそれぞれ1高等学校とします。 ※ 異なる課程を併せ持つ高等学校は全ての課程を合わせて1高等学校とします。
選 抜 方 法 等	志望理由書・調査書・推薦書・面接（100点）及び、物理及び化学に関する適性検査（300点）の成績結果を総合して選抜します。
そ の 他	※ 適性検査とは、志望する本学学部の履修上必要となる能力及び適性をみるためのものです。「物理基礎・物理」及び「化学基礎・化学」を出題範囲とします。

実施学部・学科	食品栄養科学部（食品生命科学科・栄養生命科学科・環境生命科学科）
募 集 人 員	食品生命科学科 7 人 [うち静岡県外の高等学校等を卒業見込みの人 上限 1/3 程度] 栄養生命科学科 7 人 [うち静岡県外の高等学校等を卒業見込みの人 上限 1/3 程度] 環境生命科学科 4 人 [全国の高等学校等が対象]
出 願 要 件	次の要件をすべて満たしている人 (1) 2026 年 3 月に高等学校（特別支援学校の高等部及び中等教育学校を含む）を卒業見込みの人（2025 年度の学年の途中において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた人を含む）又は 2026 年 3 月に学校において通常の課程による 12 年の学校教育を修了見込みの人 (2) 学業成績・人物ともに優れ、本学部・学科への適性・能力について出身学校長が責任をもって推薦でき、かつ合格した場合、必ず入学する人 (3) 調査書の学習成績の状況が次の①から②までのすべてを満たす人 ① 全体の学習成績の状況が 4.0 以上 ② 理科及び外国語(英語)の 2 教科を合わせた学習成績の状況が 4.3 以上 <②の算出方法> $\text{理科及び外国語(英語)の 2 教科を合わせた学習成績の状況} = \frac{\text{理科及び外国語(英語)の評定の合計数}}{\text{理科及び外国語(英語)の評定数}}$ (注) 小数点以下第 2 位を四捨五入すること。
推薦できる人数	1 高等学校等につき 各 1 学科 1 人の計 3 人 ※ 分校を持つ高等学校は本校と分校をそれぞれ 1 高等学校とします。 ※ 異なる課程を併せ持つ高等学校は全ての課程を合わせて 1 高等学校とします。
選 抜 方 法 等	書類審査（調査書・推薦書・自己推薦書）、化学に関する適性検査（300 点）及び面接（200 点）の成績結果を総合して選抜します。
そ の 他	※ 適性検査とは、志望する本学学部・学科の履修上必要となる能力及び適性をみるためのものです。「化学基礎・化学」を出題範囲とします。

実施学部・学科	国際関係学部（国際関係学科・国際言語文化学科）
募 集 人 員	国際関係学科 14 人 [静岡県内の高等学校等が対象] 国際言語文化学科 28 人 [静岡県内の高等学校等が対象]
出 願 要 件	次の要件をすべて満たしている人 (1) 2026 年 3 月に静岡県内の高等学校（特別支援学校の高等部及び中等教育学校を含む）を卒業見込みの人（2025 年度の学年の途中において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた人を含む）又は 2026 年 3 月に静岡県内の学校において通常の課程による 12 年の学校教育を修了見込みの人 (2) 本人又は保護者が 2024 年 12 月 1 日から 2025 年 12 月 1 日まで継続して静岡県内に住所（住民票）を有している人 (3) 学業成績・人物ともに優れ、本学部・学科への適性・能力について出身学校長が責任をもって推薦でき、かつ合格した場合、必ず入学する人 (4) 調査書の学習成績の状況が次の①から③までのすべてを満たす人 ① 全体の学習成績の状況が 4.0 以上 ② 外国語の学習成績の状況が 4.3 以上 ③ 数学の学習成績の状況が 3.5 以上
推薦できる人数	1 高等学校等につき 国際関係学科 1 人、国際言語文化学科 1 人の計 2 人 ※ 分校を持つ高等学校は本校と分校をそれぞれ 1 高等学校とします。 ※ 異なる課程を併せ持つ高等学校は全ての課程を合わせて 1 高等学校とします。
選 抜 方 法 等	調査書・推薦書、小論文（100 点）及び面接（100 点）を総合して選抜します。
そ の 他	

実施学部・学科	経営情報学部（経営情報学科）
募 集 人 員	40 人 〔全国の高等学校等が対象〕
出 願 要 件	次の要件をすべて満たしている人 (1) 2026 年 3 月に高等学校（特別支援学校の高等部及び中等教育学校を含む）を卒業見込みの人（2025 年度の学年の途中において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた人を含む） (2) 学業成績・人物ともに優れ、本学部・学科への適性・能力について出身学校長が推薦でき、かつ、この学校推薦型選抜に出願及び受験することが、本人の才能・資質及びこれまでの実績・経験等から適当であると出身学校長が認定する人で、合格した場合、必ず入学する人 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の人
推薦できる人数	1 高等学校等につき 1 人 ※ 分校を持つ高等学校は本校と分校をそれぞれ 1 高等学校とします。 ※ 異なる課程を併せ持つ高等学校は全ての課程を合わせて 1 高等学校とします。
選 抜 方 法 等	面接（面接と調査書・推薦書・自己推薦書による書類審査を合わせて 200 点）及び適性検査（英語能力と数理的能力を合わせて 200 点）の成績結果を総合して選抜します。 以上の成績結果を総合して下記の 1) から 3) の順で選抜します 1) 静岡県内の高等学校の専門学科(職業教育を主とする学科) 又は総合学科を卒業見込みの者 5 名程度を選抜 2) 1) の合格者以外から、県内 20 名程度を選抜 3) 1) と 2) の合格者以外から選抜 (注) 専門学科については、普通科、理数科、英数科等の職業教育を主としない学科の在籍者は対象となりません
そ の 他	※ 適性検査とは、志望する本学学部・学科の履修上必要となる能力及び適性をみるためのものです。また数理的能力は数学Ⅰ、数学A（場合の数と確率、図形の性質）の範囲から検査します。

実施学部・学科	看護学部（看護学科）
募 集 人 員	<u>45人</u> [静岡県内の高等学校等が対象]
出 願 要 件	次の要件をすべて満たしている人 (1) 2026年3月に静岡県内の高等学校（特別支援学校の高等部及び中等教育学校を含む）を卒業見込みの人（2025年度の学年の途中において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた人を含む）又は2026年3月に静岡県内の学校において通常の課程による12年の学校教育を修了見込みの人 (2) 本人又は保護者が2024年12月1日から2025年12月1日まで継続して静岡県内に住所（住民票）を有している人 (3) 学業成績・人物ともに優れ、心身ともに健康で、本学部・学科への適性・能力について出身学校長が責任をもって推薦でき、かつ合格した場合、必ず入学する人 (4) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の人
推薦できる人数	1 高等学校等につき <u>3人</u> ※ 分校を持つ高等学校は本校と分校をそれぞれ1高等学校とします。 ※ 異なる課程を併せ持つ高等学校は全ての課程を合わせて1高等学校とします。
選 抜 方 法 等	適性検査（英語能力と <u>数理的能力を合わせて200点</u> ）、面接(100点)及び志望理由書・調査書・推薦書を総合して選抜します。
そ の 他	※ 学校で独自に教科・科目を設定しているなどの理由により、学習成績の状況の算出方法について疑義が生じた場合は、出願前に学生部入試室に申し出て、その取り扱いについて指示を受けてください。 ※ 適性検査とは、志望する本学学部・学科の履修上必要となる能力及び適性をみるためのものです。<u>また数理的能力は数学Ⅰ、数学A（場合の数と確率、図形の性質）の範囲から検査します。</u> ※ <u>面接では、アドミッション・ポリシーに記載している適性を評価します。したがって、総合点のいかんにかかわらず、面接評価のみで不合格となることがあります。</u> 「草薙キャンパス」と「小鹿キャンパス」の2つのキャンパスを活用して教育を行っています。

※下線部は、2026年度の変更点です。

6 出願手続

(1) 出願期間

2025年11月4日（火）～11月10日（月）（ 必着 ） 《 最終日の17時までに必着 》 ※出願期間を過ぎた場合は受理しませんので、十分注意してください。 [インターネット出願登録期間：2025年10月28日（火）～]
--

(2) 出願方法（巻頭「出願準備から受験までの流れ」参照）

- ア 志願者が静岡県立大学インターネット出願サイトにて出願登録後、(4)の「出願書類等」を出願書類送付用封筒に封入し、**書留速達郵便**で郵送してください。
- イ 検定料 17,000 円は、インターネット出願サイトより納入してください（別途手数料がかかります。詳しくはホームページをご確認ください）。
- ウ **出願は郵送のみとします。本学へ直接持参しても受理しません。**

※ 高等学校等で複数の出願書類を取りまとめて郵送する必要はありません。志願者が各自で郵送してください。

(3) 出願先（郵送先）（出願封筒用宛名ラベル使用）

〒422-8526 静岡南郵便局留 静岡県立大学 学生部入試室

(4) 出願書類等

下記[A]～[I]までの書類を準備し、[J]の封筒に入れて提出してください。

<STEP①> 本学ホームページよりダウンロードして準備する書類

(<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/admissions/faculty/guide/f-request/>)

A 写真票	所定の様式に志望学部、志望学科、氏名、フリガナ、生年月日を記入し、写真（4cm×3cm）を貼ってください。
B 推薦書 *学部ごとに様式が異なります	所定の様式に学校長が作成し、 厳封 してください。 ※ 必ず写真を貼付してください。 ※ 薬学部・食品栄養科学部・国際関係学部は、推薦する学科を○で囲んでください。
C 志望理由書 *学部ごとに様式が異なります	〈 薬学部 と 看護学部 の出願者のみ 〉 所定の様式に志願者本人が作成してください。黒色のボールペン又は万年筆を使用してください。
D 自己推薦書 *学部ごとに様式が異なります	〈 食品栄養科学部 と 経営情報学部 の出願者のみ 〉 所定の様式に志願者本人が作成してください。黒色のボールペン又は万年筆を使用してください。
E 住所票	所定の様式に志望学部、学科、郵便番号、住所（ 合格通知書、入学関係書類を確実に受け取ることができる住所 ）、フリガナ、氏名を記入してください。
F 高校連絡票	所定の様式に志望学部、学科、高等学校等の所在地、学校名を記入してください。高等学校への連絡用に使用します。

<STEP②> その他、出願に必要な書類

G 調査書	文部科学省所定の様式により、学校長が作成し、 厳封 してください。※（6）調査書記入上の注意を参照ください。
--------------	---

<STEP③> インターネット出願サイトに登録後、出願サイトにて出力できる書類

H 出願確認票 (提出用)	インターネット出願の際に入力した内容に誤りがないか確認してください。 ※ 受験票はインターネット出願時に入力したデータを基に作成します。
I 入学者選抜連絡用宛名ラベル ↓ 【入学者選抜連絡用封筒】 に使用	【入学者選抜連絡用封筒】 インターネット出願サイトより「入学者選抜連絡用宛名ラベル」を出力し（出願時に登録した住所以外への送付を希望する場合は、右側の白紙ラベルへ住所等を手書きして使用してください）、確実に受験票が受け取れる住所の宛名であることを確認してください。その後、市販の長形3号（120×235mm）の封筒にラベルを貼付し、320円分の切手を貼ってください。 ※ 封筒は封をしないでください。 ※ 受験票等の送付に使用します。
J 出願封筒用宛名ラベル ↓ 【出願書類送付用封筒】 に使用	【出願書類送付用封筒】 インターネット出願サイトより「出願封筒用宛名ラベル」を出力し、インターネット出願時に入力した内容と相違がないか確認してください。その後、出願書類及び注意事項を確認し、市販の角形2号（240×332mm）の封筒にラベルを貼付した後、[A]～[I]の出願書類を入れて送付してください。

受験票を 2025 年 11 月 14 日(金) ごろ、志願者あてに【特定記録郵便】で郵送します。
11 月 21 日(金) までに届かない場合は、学生部入試室へ連絡してください。

(5) 出願上の注意

- ア 出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。
 - イ 出願書類受理後の書類の変更は認めません。
 - ウ 一度受理した出願書類及び入学検定料は返還しません。ただし、19 ページ「検定料の返還について」に挙げる場合を除きます。
 - エ 受験に際し、虚偽の記載又は申告等不正の事実を発見した場合は、合格を取り消すことがあります。
 - オ 国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願できるのは、一つの大学・学部です。したがって、本学の学校推薦型選抜に出願した場合は、他の国公立大学の学校推薦型選抜へは出願できません。ただし、一つの大学・学部の同一の学校推薦型選抜募集単位（学部・学科・課程・専攻等）について、「大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜」で不合格となった場合は、同一の募集単位の「大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜」に出願できます。
- したがって、本学の場合は、
- 薬学部薬科学科「大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜」で不合格となった場合は、薬学部薬科学科「大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜」に出願できます。
 - 薬学部薬学科「大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜」で不合格となった場合は薬学部薬学科「大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜」に出願できます。
 - 国際関係学部国際関係学科「大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜」で不合格となった場合は、国際関係学部国際関係学科「大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜」に出願できます。

- 国際関係学部国際言語文化学科「大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜」で不合格となった場合は、国際関係学部国際言語文化学科「大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜」に出願できます。

※ 独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については、公立大学協会ホームページ(<https://www.kodaikyo.org/>)を確認してください。

(6) 調査書記入上の注意

学校長は、下記事項に特に注意し、調査書を作成してください。

- ア 「出欠の記録」の欄は、指導要録該当欄の記載事項を転記するものとしますが、卒業見込みの者の最終学年の欄は、直近の学期末（ないしは、最終学年の成績を判定した時点）現在における出欠状況を記入し、その旨を備考欄に明示してください。
- イ 「指導上参考となる諸事項」の欄には、指導要録と同様に、要点を箇条書きするなど、その記載事項を必要最小限にとどめてください。その際、生徒の特徴・特技や学校外の活動等については、原則として、学習指導等を進めていく上で必要な情報として精選して指導要録に記載された内容を元に記入してください。記入する内容が無い場合はその旨明示してください。その際、複数の学年を通じた記入が適当である場合は、学年ごとの記入を要しません。
- ウ 記載責任者職氏名は、必ず記載し、押印してください。
- エ 調査書はA4表裏の両面1枚で作成してください。
- ※ 被災等により調査書が得られない場合又は調査書の書き方に疑義がある場合には、出願前なるべく早い時期に、学生部入試室へ相談してください。

7 選抜日時・試験場等

(1) 試験日

2025年12月1日（月）

(2) 試験時間割及び実施内容

薬学部	食品栄養科学部	国際関係学部	経営情報学部	看護学部
9:00～10:30 適性検査 (化学基礎・化学)	9:00～10:30 適性検査 (化学基礎・化学)	9:00～10:30 小論文	9:00～10:00 適性検査 (英語能力と数理的能力)	9:00～10:00 適性検査 (英語能力と数理的能力)
11:00～12:00 適性検査 (物理基礎・物理)	12:30～17:00 面接	12:00～17:00 面接	12:00～17:30 面接	12:00～17:00 面接
13:30～17:30 面接	【注】受験者は、8時40分までに試験室に入室着席してください。			

(3) 試験場

静岡県立大学 草薙キャンパス（巻末図参照）
〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1 TEL 054-264-5007

(4) 受験上の注意

- ア 試験場までは公共交通機関をご利用ください。試験場内への自動車、バイク等の乗り入れ及び駐車はできません。試験前日までに、試験場までの道順、所要時間等を確認しておいてください。試験場までの所要時間は交通事情により異なりますので、十分な余裕をもって出かけてください。
- イ 試験当日には、「受験票」を必ず持参してください。紛失又は忘れた場合には、早めに係員に申し出て、仮受験票の交付を受けてください。
- ウ 試験場構内へ入構の際は、正面入口で受験票を提示してください。試験場構内への入構開始は8時からです。それ以前に入構することはできません。
- エ 付添人控室はありません（原則として受験者の付添人は入構できません）。
- オ 試験開始20分前までに試験室に入り、指定された席に座ってください。
- カ 定期運行している交通機関の事故等により、入室着席時間（8時40分）に間に合わない場合は、直ちに学生部入試室（TEL 054-264-5007）に連絡するとともに、交通機関において、これを証明する書類の交付を受けてください。
- キ 各時限とも、試験開始時刻後30分以上遅刻した人は受験を認められません（看護学部は試験開始時刻後15分以上の遅刻者は受験を認められません）。「面接」においては試験開始時刻に遅刻した人は受験を認められません。ただし、上記「カ」や自然災害等不可抗力による遅刻の場合は、受験を認めることがあります。
- ク 昼食が必要な場合は、各自持参してください。
- ケ 上履きは不要です。
- コ 試験前日又は試験当日、最寄りの駅又は試験場周辺で合格発表を通知するサービス等の受付をする者がいたとしても、これらの行為は、本学とは何ら関係のないものであり、これらのことから生じるトラブル等に対しては、本学は一切責任を負いませんので十分注意してください。

(5) 試験場からの退出

試験場からは、試験時間が終了するまで退出することはできません。また、「面接」では、各自の試験終了後、帰宅となります。

(6) 試験時間中の注意事項

- ア 時計のアラーム機能、時報は必ず解除してください。
- イ 試験時間中、監督者に用件のある場合は、黙って挙手してください。
- ウ 試験時間中は監督者の指示に従ってください。従わない場合は退室させることがあります。
- エ 受験票等所持品の扱い

① 「受験票」のほかに試験時間中、机の上に置けるものは次のとおりです。

- ・ 黒鉛筆（又はシャープペンシル）
- ・ プラスチック製の消しゴム
- ・ 鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）
- ・ 時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しにくいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可）
- ・ 眼鏡

※ ハンカチ、ティッシュペーパー、目薬の使用を希望する人は、試験監督者に申し出て許可を受けてから使用してください。

② 試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

- ・ 定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
- ・ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類

※ これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っている」と不正行為となることがあります。

※ イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。

- ③ 試験時間中に使用してはいけない電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておいてください。試験開始前に、監督者の指示で電源が切られているか等の確認を行います。
- ④ 「耳栓」は、監督者の指示等が聞こえない場合がありますので、使用できません。
- ⑤ 試験室内でコート類等を着用しても差し支えありませんが**英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください**。着用している場合には脱いでもらうことがあります。

オ 試験時間中の監督者の巡視

試験時間中、監督者が試験室内の巡視を行います。その際、監督者が顔を上げるよう指示することや、マスクや眼鏡、帽子等を一時的に外すよう指示することなどがあります。また、不正行為に見えるような行為は、監督者が注意する場合があります。

(7) 不正行為について

次のことをすると不正行為とみなし、不正行為をした受験者には、直ちに受験を停止させ、退出を命じます。この場合、当該科目を含む、全ての受験科目の成績は無効となります。

不正行為については状況により、警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- ア カンニングをすること（試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つ、使用する、他の受験者の答案を見る、他の人から答えを教わる、身体にメモをする・そのメモを見るなど）。
- イ 試験時間中に、使用を認められていない物品を使用すること。
- ウ 配布された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- エ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- オ 「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子・解答用紙を開く、解答を始める、裏面・余白などに書き込みを行うこと。
- カ 「解答やめ」の指示に従わず、筆記用具を持っていたり解答を続けること。
- キ 試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。
- ク 試験時間中に携帯電話等を身に付けること、使用すること。
- ケ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- コ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- サ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- シ 受験者以外の者がその受験者本人になりすまして試験を受けること。
- ス その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。
- セ 不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。
 - ① 監督者等が注意をする、又は事情を聴くこと。
 - ② 別室での受験を求めること。

8 合格発表

(1) 合格発表日時

2025 年 12 月 10 日（水）10 時

(2) 合格発表方法

- ア 合格者の受験番号を、静岡県立大学草薙キャンパスはばたき棟南側掲示板に掲示します。
- イ 合格者には学校長あて文書で通知するとともに、本人あてに合格発表日に「合格通知書」及び「入学手続要項」等を発送します。
- ウ 可否について、電話等による照会には一切応じません。
- エ 合格者の受験番号は本学ホームページに掲載します（合格発表日時以降）。ただし、合格通知書の送付をもって正式通知とします。

静岡県立大学ホームページ <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

9 入学手続等（概要）

(1) 入学手続期間と手続方法

合格者には「合格通知書」とともに「入学手続要項」を送付しますので、その指示に従って入学手続を完了してください。

入学手続期間：2025 年 12 月 12 日（金）～12 月 18 日（木） 15 時必着

※原則、郵送で手続を行ってください。

(2) 注意事項

- ア 学校推薦型選抜の合格者が、入学手続期間内（2025 年 12 月 18 日（木）15 時まで）に入学手続を完了しないときは、推薦合格者としての権利を失います。特別の事情があり、出身学校長が 2025 年 12 月 18 日（木）15 時までに「推薦入学辞退願」（様式は問いません）を本学に提出し、本学の許可を得た場合を除き、入学辞退を認めません。この手続により入学の辞退を許可された場合を除き、他の国公立大学・学部の入学許可も得られません。
- イ 学校推薦型選抜の合格者で、特別な事情もなく入学を辞退したり、入学後の追跡調査の結果、本学の学校推薦型選抜の趣旨に反する人が出た場合、以後当該高等学校からの出願を受理しないことがあります。
- ウ 入学手続には、「本学の受験票」及び、大学入学共通テストに出願している方は「大学入学共通テスト受験票のコピー」が必要です。

(3) 初年度納付金

ア 入学料

納入対象者	金 額
静岡県内の人	141,000 円
上記以外の人	366,600 円

【注 1】 上記は、2025 年度入学者の金額です。2026 年度の確定額については、入学手続要項でお知らせします。

【注 2】 いったん納入された入学料は返還しません。

【注 3】 「静岡県内の人」とは、本人又は本人の配偶者若しくは 1 親等の親族が 2024 年 12 月 1 日から 2025 年 12 月 1 日まで継続して静岡県内に住所を有している人をいいます。住所を有していることの確認は住民票で行います。発行日が 2025 年 12 月 1 日以降の住民票を提出いただきます。

イ 授業料

	金 額
前 期 分	267,900 円
後 期 分	267,900 円
年 間	535,800 円

- 【注1】 上記は、2025年度入学者の金額です。2026年度の確定額については、入学手続要項でお知らせします。
- 【注2】 年額一括納入はできません。
- 【注3】 いったん納入された授業料は返還しません。

○入学料・授業料の減免について

経済的理由により授業料等の納入が困難な方については、一定の要件を満たす場合に授業料等の減免を受けることができます。減免には一定の要件がありますので、確実に減免を約束するものではありません。詳細は入学手続要項でご案内します。

ウ その他諸経費

学 部		保険料	後援会費	同窓会費	その他	合 計
薬学部	薬科学科	4,730 円	62,000 円	40,000 円	10,000 円	116,730 円
	薬学科	6,840 円	68,000 円	40,000 円	10,000 円	124,840 円
食品栄養科学部		4,730 円	62,000 円	20,000 円	10,000 円	96,730 円
国際関係学部		4,660 円	62,000 円	10,000 円	8,000 円	84,660 円
経営情報学部		4,660 円	62,000 円	—	10,000 円	76,660 円
看護学部		21,370 円	72,000 円	10,000 円	28,497 円	131,867 円

- 【注1】 上記は、2025年度入学者の金額です。2026年度の確定額については、入学手続要項でお知らせします。
- 【注2】 各経費とも4年間分（薬学部薬学科は6年間分）の金額です。なお、「後援会費」には入会金が含まれます。
- 【注3】 薬学部・食品栄養科学部・経営情報学部の「その他」は、TOEIC受験料預り金です。
- 【注4】 国際関係学部の「その他」は、TOEIC受験料の一部に充てるための預り金です。TOEIC受験料には後援会費の一部も充てられます。
- 【注5】 看護学部の保険料については、臨地実習等の特殊性から、他学部と異なっています。また、看護学部の「その他」は、病院実習のための小児感染症抗体価検査費、TOEIC受験料預り金です。

10 その他

(1) 学生生活（詳細は入学手続要項でお知らせします）

ア 奨学金

① 日本学生支援機構奨学金

経済的理由により修学が困難な優れた日本人学生を対象に給付又は貸与される奨学金です。大学進学後に申し込みをする方は、年度当初に開催する説明会に参加するようにしてください。

② その他の奨学金

公的団体、地方公共団体、民間企業等の奨学金（貸与型・給付型）があります。本学を経由して申し込みを行うものについては、Web 学生サービス支援システムにより募集内容等について随時ご案内します。

イ アパート・下宿

アパート・下宿への入居を希望する学生にはアパート・下宿情報を提供しています。

※ 郵便、電話等による問合せ及び紹介依頼には応じられません。

（参考）大学付近のアパート・下宿の賃料はおおむね次のとおりです。

ワンルーム（6～8畳程度） 月額45,000円～60,000円位

※ キャンパス内のグローバル化促進の一環として、2022年4月にオープンした国際学生寮（愛称：富学寮）があります。選考の上、日本人学生と留学生の計12人まで入寮可能です。詳細はホームページをご確認ください。

（国際学生寮 <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/exchange/campus/dormitory/>）

問い合わせ先：国際交流室

（Tel054-264-5158 E-mail: fugakuryo@u-shizuoka-ken.ac.jp）

ウ 通学方法

本学では、学生の自動車通学（入構）は禁止されています（身体的理由等特別な理由がある場合を除きます）。公共交通機関又は自転車・バイク等を利用して通学してください。

(2) 個人成績の開示について

2026 年度入学者選抜の個人成績については、不合格者に限り、受験者本人の申出により、次のとおり開示することができます。代理人による申出はできません。

ア 開示情報

総合得点又は成績ランク（開示する内容は、学部により異なります）

イ 申出方法

申出者が、本人情報開示申出書に必要事項を記載し、学生部入試室へ送付してください。この時、受験票等による本人確認が必要になります。

本人情報開示申出書、受験票等（写し）及び返信用封筒（長形 3 号〔120×235mm〕に郵便番号、住所、氏名を明記し、簡易書留郵便代 460 円分の切手を貼付）を下記送付先まで郵送してください。その際、封筒に「個人成績開示申出」と朱書きしてください。

なお、本人情報開示申出書は静岡県立大学ホームページ（<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>）からダウンロードできます。

※ 郵便料金の改定があった場合は、改定後の金額で切手を貼付してください。

詳しくは、静岡県立大学ホームページでご確認ください。

ウ 申出期間

2026 年 5 月 11 日(月)から 2026 年 6 月 30 日(火) 必着

エ 送付先・問い合わせ先

〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1

静岡県立大学 学生部入試室 TEL 054-264-5007

(3) 個人情報の取扱いについて

個人情報については「個人情報の保護に関する法律」に基づき、次のとおり取り扱います。

ア 出願書類に記載された個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。

イ 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。

ウ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入学共通テスト受験番号、可否及び入学手続に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。

エ 入学者の個人情報については、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援、入試広報等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

(4) 募集要項の入手方法

ア 大学のホームページから印刷する場合

静岡県立大学ホームページ（<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>）の学部入試情報「学生募集要項」に掲載される PDF ファイルを印刷してください。出願書類は白色の上質紙に印刷して使用してください。

イ 窓口で請求する場合（自宅に印刷環境がない方）

静岡県立大学学生部入試室（草薙キャンパスはばたき棟 1 階）の窓口で、上記[ア]を印刷したものを配布します。

受付時間は平日（8/13～8/15、12/29～1/3 は除く）9 時～17 時です。

ウ 郵送により大学へ請求する場合（自宅に印刷環境がない方）

下記により、返信用封筒を郵送してください。上記[ア]を印刷したものを配布します。

① 返信用封筒（角形 2 号〔240×332mm〕）に 270 円分の切手を貼り、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記してください（速達希望の場合は 300 円分の切手をプラスして貼ってください）。

※ 郵便料金の改定があった場合は、改定後の金額で切手を貼付してください。

詳しくは、静岡県立大学ホームページでご確認ください。

② 「①の返信用封筒」と「受取人の氏名及び電話番号を書いたメモ」を同封してください。

③ 封筒の表側に「大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜学生募集要項請求」と朱書きし

て下記請求先へお送りください。

【請求先】 〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学 学生部入試室

(5) 検定料の返還について

払込後の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

ア 検定料の返還請求ができる場合

- ① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ③ 出願書類、出願要件に不備があり、出願を受理されなかった場合

イ 返還する検定料の金額

志願者本人の申出により、17,000 円（ただし、返還に係る振込手数料は請求者の負担とします）を返還します。

ウ 返還請求の方法

A4 用紙を使用し、次の 1～8 を明記した検定料返還請求書を作成し、必ずインターネット出願時の「出願データ登録完了メール」又は「入金確認メール」「出願確認票」等、K26-から始まる整理番号がわかるものを添付して、2026 年 3 月 31 日(火)までに静岡県立大学学生部入試室（〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1）へ提出してください。

静岡県立大学入学検定料返還請求書

- 1 返還請求の理由
- 2 選抜区分 大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜
- 3 志望しようとした学部名
- 4 氏名（フリガナ）、押印
- 5 現住所
- 6 連絡先電話番号
- 7 返還請求額 17,000 円
- 8 返還金振込先
 - ・金融機関名（金融機関コード）、支店名（支店コード）
 - ・預金種別（当座・普通）、口座番号
 - ・口座名義人（フリガナ）
 - ・口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

11 学部案内

薬 学 部

薬学部の特徴

本学部の沿革をたどると、1916 年開校の静岡女子薬学校に始まる 100 年を超える歴史があり、創薬、医療、学術、行政などの分野で活躍する卒業生を多数輩出し、社会的に高い評価を得ています。

薬学はライフサイエンスの一翼であり、疾病の予防・治療、さらに健康の保持・増進にかかわる重要な学問分野です。本学部では、社会のニーズを理解できる人材を育成するための教養教育、国際化に呼応した語学教育、基礎学力と倫理観、コミュニケーション能力の醸成を目指した（薬学をサイエンスとして理解するための）専門基礎教育、薬科学士や薬剤師としての薬の専門家を養成する薬学専門教育を教授するとともに、問題解決能力の醸成のための卒業研究にも力を入れています。一方、文部科学省のグローバル COE プログラムにも採択された実績を基盤に、国際的に通用する科学者・技術者の養成のための大学院薬食生命科学総合学府も充実させています。さらに、創薬探索センターを設置し、本学発の新薬シーズの開発にも力を入れています。臨床検査技師国家試験の受験資格に対応した選択科目も配置しています。

薬科学科

4 年制の学科であり、「薬」を中心としたサイエンスを学び、ライフサイエンスの研究者・技術者としての基礎的能力の涵養を図ります。薬科学科では大学院への進学を想定して、大学院と連携した教育によって製薬企業で医薬品の研究・開発に関わる人材、大学などの研究機関でライフサイエンス研究に携わる人材などを養成します。本学科では、まず一般教養科目、薬学基礎・共通科目を履修した後、薬の科学に関する専門科目や実習科目を履修し、3 年次後期に研究室配属を行って最先端のテーマを設定して卒業研究を行います。

薬学科

6 年制の薬剤師養成教育を行う学科です。医療技術の高度化、医薬分業の進展に的確に対応できる、高い資質をもつ薬剤師を養成します。本学科では、まず一般教養科目、薬学基礎・共通科目を履修した後、専門科目及び臨床での実務実習によって医療の一翼を担うための素養（基礎的能力）を修得します。その過程では知識・技能・態度に関する到達度が求められ、4 年次に全国共通の知識を問う試験（CBT）及び技能・態度を問う試験（OSCE）に合格する必要があります。4～5 年次においては、静岡県立総合病院内に設置された薬学教育・研究センターを核として、専任教員指導型の実務実習を履修します。また、本学科においても 3 年次後期から卒業研究に取り組むことでライフサイエンスの基礎を修得します。

望ましい学生像

薬学では、物理、化学、生物の知識や考え方を基礎とする教育が行われます。また、グローバルに医療や最先端研究を理解するためには、高度な英語力も要求されます。これら自然科学科目及び英語の基礎学力を、高校時代にしっかりと身につけておくことが望まれます。また、科学者や薬剤師となるための倫理観を身につけていることも重要です。

卒業後の進路

本学部卒業生の主な就職先としては、製薬関連企業、化粧品や食品の関連企業、病院、薬局及び官公庁があげられます。特に研究職を希望する場合には、本学大学院で修士や博士の学位取得を目指すことを勧めます。修士以上の学位取得者の主な就職先は、製薬関連企業の研究開発部門、薬事関連行政機関、公的試験研究機関及び大学などの教育・研究機関です。

食品栄養科学部

食品栄養科学部の特色

現代社会では、環境汚染の広域化と食品の安全性、栄養と社会環境に起因する生活習慣病の蔓延など、「食と健康」や「環境と健康」をめぐる緊急課題が多く存在します。

1987年に誕生した我が国唯一の名称を持つ食品栄養科学部は、これまで「食と健康」をテーマに教育研究実績を積み重ねてきました。食べ物という物質面の学問として発展してきた食品科学と、生体内に入った食べ物の代謝や生体機能との関係を扱う栄養科学が密接に関連しつつ、食と健康の科学の統合化が進んでいます。2014年4月に、食べ物の生産とその安全性に関わる環境分野の人材を育成するために、新たに環境生命科学科を開設しました。本学部の3つの学科は、互いに啓発しながら、健康に関わる食とそれを支える環境の様々な課題の解決のために、グローバルに活躍できる専門技術者や管理栄養士の育成を目指しています。一方、大学院においては薬食生命科学総合学府が開設され、病気の予防の総合的な学問体系である健康長寿科学の教育研究を推進させています。現在、卒業生の30～40%が本学大学院に進学しています。本学部の卒業生には食品衛生監視員及び食品衛生管理者の申請資格が与えられます。

食品生命科学科

専門教育では、①食品成分、②食品の生産・加工・貯蔵、③食品衛生、に関する科学について学びます。さらに、分子生物学、生化学、生理学、栄養学などの生命科学の基礎概念を履修し、「食と健康」の専門家として学際的知識と能力を身につけます。また、食品工学、遺伝子工学、代謝工学などのバイオテクノロジーの基礎と応用を学ぶことができます。また、所定の単位を取得すると高等学校教諭一種免許状（理科）が取得できます。

栄養生命科学科

専門教育では、①生命及び健康の維持の基本メカニズム、②栄養素の消化・吸収と体内での代謝、③集団栄養と公衆衛生に関する栄養科学を、分子・遺伝子・細胞レベルから個体レベル、さらには国民・民族レベルに至る

まで幅広く学びます。また、生活習慣病などの疾病予防を目指す栄養教育、公衆栄養学、給食経営管理論、病態の改善をはかる臨床栄養学など、管理栄養士に必要な実践的な栄養科学を深く学びます。本学科の卒業とともに栄養士免許が取得でき、管理栄養士国家試験の受験資格が与えられます。また、所定の単位を取得すると栄養教諭一種免許状が取得できます。

環境生命科学科

専門教育では、①環境と生命に関する科学、②環境分析と環境保全、③環境リスク・安全性評価を3つの柱とし、食と健康に関わる環境生命科学に関する基礎から専門までの幅広い知識を身につけます。また、フィールドワークや専門実験の履修を通して、環境を計測・分析し、生体影響を評価するための実践的知識や技術を修得し、問題解決能力を身につけます。なお、分析化学、環境分析化学、環境計量論等の専門科目の履修により、環境計量士国家資格の受験に必要な知識を習得できます。在学中に複数名の学生がこの資格試験に合格しています。また、所定の単位を取得すると高等学校教諭一種免許状（理科）が取得できます。

望ましい学生像

本学部は食と環境と健康に関する総合的な知識と技術を身につけ、これらの現代の課題に挑戦できる人材を育成しています。特に生命科学に関心があり、探求心や開拓精神が旺盛で、意欲的な学生の入学を歓迎します。

卒業後の進路

食品生命科学科の卒業生は、公的試験研究機関や食品企業等において食品の分析・開発・安全性試験・品質管理等の分野で活躍しています。栄養生命科学科の卒業生は、国公立の病院・学校や行政の管理栄養士として、また公的研究機関や食品企業等で研究に携わっています。環境生命科学科の卒業生は、環境コンサルタントや食品製造等の企業、及び公的試験研究機関において、環境分析、環境リスク・安全性評価、環境保全技術の開発等の分野で活躍しています。

国際関係学部

国際関係学部の特色

グローバル化の時代を迎えた現代、世界情勢は私たちの日常の中にまさにリアルタイムで飛び込んできます。国内問題すら世界的視野で解決していかなければならない時代です。

国際関係学部では、国家間の関係を踏まえつつ、国境や文化の壁を越えて人と人を結び、国際社会と地域社会の課題に協力して取り組むことのできる課題発見・解決型人材を育成することを主な目標にしています。本学部教員は、国内外の大学や研究機関で活発に教育・研究にたずさわってきた者や、国際情勢分析や国際援助計画等の現場に従事してきた実務経験者など、多彩かつ実力派の研究者で構成されており、グローバル化時代の日本と国際関係の現実を常時分析・研究し、世界に向けて情報発信を続けています。本学部の特色豊かな少人数授業やゼミ、各種の海外留学・語学研修制度などを通して、社会のあらゆる分野において国際的視野で物事を考え、かつ行動することができる人材を育成しています。

国際関係学科

国際関係学科は、安全保障、紛争解決、民主主義、開発、格差、貧困、ジェンダー、共生など、グローバル化した世界における諸問題を、政治学、経済学、法学、社会学、文化人類学、コミュニケーション学などの社会科学的、人文学的なアプローチから教育・研究する学科です。国際公共政策、国際開発、共生社会という 3 つの専門プログラムが用意されています。本学科で開講されている社会調査法の関連科目群を履修することで、社会調査士資格を取得することができます。

国際言語文化学科

国際言語文化学科は、日本を含む世界の言語、文化、思想、歴史などについて教育・研究し、国際的な相互理解を促進しようとする学科です。コミュニケーションの手段としての言語及びそれと深く結びついた文化の究明と地域研究を重視しており、グローバル・コミュニケーション、比較文化、日本研究、ア

ジア研究、ヨーロッパ研究という 5 つの専門プログラムが用意されています。本学科の提供科目群を通じて、高校英語・国語の教員免許資格が取得できます。また、日本語教員の養成も行っています。

望ましい学生像

国際社会についての広範な情報の入手経路・伝達手段としても、英語を中心に十分な語学力をもつ必要があります。しかし、大切なことは、積極的に人とのコミュニケーションに関わる姿勢と新たな発見や情報を得ようとする探究心です。同時に主体的な情報発信力を備えていることも重要です。本学部の講義・授業は人文社会科学の多岐にわたる分野から成るので、常に自分の問題意識を核にして能動的な学習姿勢を維持しつつ、さまざまな分野に知的好奇心をもって取り組める学生、既成概念にとらわれない柔軟な思考を備え、多角的な視点から物事を追究する態度をもつ学生、そして何より、新しい世界を担おうとする意欲にあふれた学生の入学を歓迎します。

卒業後の進路

卒業生は官公庁、新聞・放送・出版・広告などのマスメディア、情報産業、通信運輸、金融保険、観光業、製造業など多種多様な業界に就職して活躍しています。教育分野でも、高等学校の英語・国語の教師や、国内外で働く日本語教師、また、大学院に進学して更に研究を深めてスペシャリストになる人たちもいます。もちろん、国際協力・国際援助の機関や現場で幅広く活躍している卒業生も輩出しています。

経営情報学部

経営情報学部の特色

本学の経営情報学部は、企業や公共機関における情報化が声高に唱えられ始めた1987年に、国公立大学で初めての経営情報学部として設置されました。経営情報学は、企業における経営資源（人・モノ・カネ・情報）の管理や活用を、ICT（情報通信技術）によって効率化・最適化するために情報化社会の進展とともに誕生した比較的新しい学問分野です。21世紀に入り、あらゆるモノやカネがインターネット上で瞬時に売買・取引できる現代、ICTを活用した企業経営はもはや当たり前となりました。

一方、我が国は、情報化のみならず経済・社会のグローバル化、人口減少と少子高齢化、産業構造のサービス産業化といった複合的な環境変化に見舞われており、企業だけでなく公共機関や観光まちづくりを始めとした社会の各領域で多くの課題に直面しています。これらは単純なICTの導入だけでは解決が不可能です。本学部では、このような環境変化に対応した企業経営や公共経営、観光経営を実現するために、「経営」「総合政策」「データサイエンス」「観光マネジメント」の高度な専門知識をもち、それらを有機的に連携することができる学際性を兼ね備えた人材の育成を目指しています。

本学部では、知識社会におけるリーダーを育成するために、文理の垣根を越えたメジャー制による多彩な学びを可能としています。学生は、4つのメジャーから1つ以上のメジャーを主たる専門分野として学び、取得した単位に応じて卒業時にメジャーが認定されます。

- 経営メジャー：企業における経営管理や経営戦略、会計制度、マーケティングなどに関する講義を中心に学び、所定の単位を取得することで、経営メジャーが認定されます。
- 総合政策メジャー：経済学や行政・地域政策、健康福祉などに関する講義を中心に学び、所定の単位を取得することで、総合政策メジャーが認定されます。
- データサイエンスメジャー：ICTによるビッグデータの収集・管理や、統計学、数理学、プログラミングによるデータ分析や人工知能などに関する講義を中心に学び、所定の単位を取得することで、データサイエンスメジャーが認定されます。

- 観光マネジメントメジャー：観光学、観光産業、観光政策、観光調査などに関する講義を中心に学び、所定の単位を取得することで、観光マネジメントメジャーが認定されます。

望ましい学生像

本学部は「経営」「総合政策」「データサイエンス」「観光マネジメント」の各分野を組み合わせた教育を実施しています。どの分野を中心に据えて授業科目を受講するかは、学生個々の将来の志望によって柔軟に組み合わせることができるため、(1)「企業経営・公共経営・観光経営などに高い関心をもつ文系志向の学生」、(2)「データサイエンスに興味をもち、数学や自然科学などの学力のある理系志向の学生」のどちらの学生の入学も歓迎します。

卒業後の進路

本学部が輩出する人材は、社会的に不足し渴望されている人材です。したがって、その将来の進路は大きく広がっています。本学部の充実した教育方針と内容については、多くの企業が強い関心を示し、卒業生は各有力企業に就職しています。

本学部は、(1)ビジネスパーソン、組織マネージャ、起業家など、企業におけるビジネスリーダーや、新規事業を創出する起業家を目指す人、(2)自治体・官公庁の職員を目指す人、(3)公営企業の職員やNPOなど非営利団体の経営スタッフを目指す人、(4)医療・介護の政策・経営を学び、医療機関や介護施設の経営スタッフを目指す人、(5)統計的知識を土台にビッグデータから経営に役立つ価値を導き出すことができるデータサイエンティストを目指す人、(6)情報技術と経営・経済・法律等に精通したITコンサルタントなどを目指す人、(7)観光関連企業や団体の中核となる人材、あるいは、観光地全体の地域力を高める地域経営を担う人材などを目指す人、(8)商業、数学、情報の高等学校教員を目指す人にとって適した学問の府といえます。さらに高度な経営や情報の能力を身につけたい人には、大学院に進学する道も開かれています。

看護学部

看護学部の特徴

少子化・高齢化が進む今日の社会にあって、誰もが生き生きとした生活を送るため、保健・医療・福祉の体制の整備や連携を推し進めることが急務とされています。その中でも看護は、中核的な専門分野として、責任のある役割を果たすことが期待されている領域です。本学部はこうした社会的要請に応えるべく、高度な専門的知識と実践能力を有する看護職の育成を目指して平成9年4月に開設し、以来、諸体制を整備してきました。

看護の基本は、人間への深い理解に始まると言われています。本学部では「いのち」の尊さを基本に、豊かな人間性を養い、社会のニーズに応えうる先進的な人材の育成を目指して、教育上以下のような工夫をしています。

第一は、「ひと」を統合的に理解するための重点的なカリキュラム編成になっていること。第二は、科学的なものの考え方に立った応用力・実践力を身につけるための実験・実習を重視していることです。とりわけ、専門職としての主体的な問題解決能力の育成に欠かすことの出来ない臨地実習については、看護の場や役割の広がりに応じた多彩な実習場を用意しています。第三は、保健医療の分野の国際化に対応して、英語教育や国際的な視野の育成のための充実した科目群を配しています。

看護学部は、看護の基礎となる科目はクラシックな雰囲気のある草薙キャンパスで学び、看護の専門科目はモダンな雰囲気のある小鹿キャンパスで学びます。小鹿キャンパスでは、様々な看護活動の場に応じた看護技術を習得できるよう、5つの実習室を整備しました。熱意のある個性的な教師陣とシミュレーションセンターなど最新の教育施設・設備のもとで、全国から集まった学生が夢と希望を持ち、学習に励んでいます。また、豊かな緑に恵まれた明るいキャンパスは、看護にとってもっとも大切な、人を思いやる心を育むのに最適な環境といえます。

本学には、看護学部のほかに薬学部、食品栄養科学部、国際関係学部、経営情報学部の4学部があり、それぞれの学部では国内でもユニークで先端的な研究や教育がなされています。単科の看護大学と異なり、専門領域の異なる他学部の学生や教員との交流も多く、在学中に築いた多彩な人々とのネットワークは、卒業後もあなたの大きな財産となることでしょう。

望ましい学生像

看護学部は、少子高齢社会の健康の護り手として人々の生活を支援するため、確かな看護判断能力と実践能力を身につけ、他専門職と協働して健康上の課題に創造的に対応できる人材を育成することを目的とします。したがって、本学部では、人との関わりを通して学ぶことに興味をもち、科学的探究心のある、意欲的な学生の入学を望んでいます。

入学後は生物学及び化学系の教科を基礎とする必修科目がありますので、高校時代にこれらの自然科学の基礎学力を充実しておくことが望まれます。

卒業後の進路

看護学部を卒業すると、看護師国家試験受験資格と、選抜により保健師の国家試験受験資格が得られます（編入生は除く）。卒業後は、これらの資格をいかして、県内外の保健・医療・福祉機関などに就職しています（就職率100%）。

さらに、助産師の国家資格を取得するために、あるいは、更に高度な看護専門能力を持つ実践者・教育者・研究者を目指して、本学大学院に進学する道も開かれています。

試験場案内 ＜静岡県立大学 草薙キャンパス＞



＜交通案内＞

1. JR 静岡駅から東海道本線にて(約 7 分)JR「草薙駅」下車。
JR「草薙駅」南口(県大・美術館口)から徒歩 15 分。
2. JR 静岡駅から(徒歩 10 分)静岡鉄道「新静岡駅」へ。静岡鉄道「新静岡駅」から(約 12 分)静岡鉄道「県立美術館前駅」下車、または(約 14 分)静岡鉄道「草薙駅」下車。駅改札より徒歩 15 分。

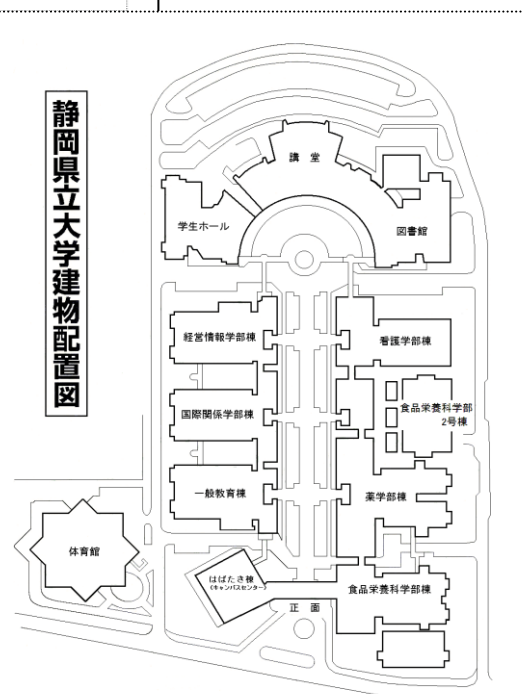
※ バスを利用する場合

JR「草薙駅」南口(県大・美術館口)バス停から、しずてつジャストライン草薙団地行き(三保草薙線)で(約 5 分)「県立大学入口」下車、徒歩 5 分。

- 平日の午前のみ、(約 7 分)「県立大学前」下車が可能、徒歩 0 分。
- 運行日や本数にご注意ください。

※ タクシーを利用する場合

JR 静岡駅(南口)からタクシーで約 20 分。または、JR「草薙駅」南口からタクシーで約 5 分。



静岡県立大学

薬学部／食品栄養科学部／国際関係学部／経営情報学部／看護学部

〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1

<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

〔入試に関する問合せ先〕

学生部入試室

TEL: 054-264-5007 FAX: 054-264-5199

E-mail: nyus@u-shizuoka-ken.ac.jp